

生き生きとコミュニケーションを図る 児童生徒を育てる指導の工夫

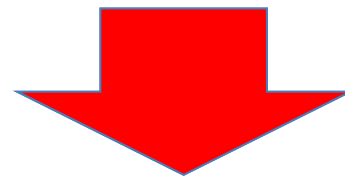
～「**笠原型コンテンツ・ベイスト**」の手法を
中心とした効果的な小中連携の在り方～

岐阜県多治見市立笠原小学校・笠原中学校

研究の歩み

笠原校区 英語教育への取組

平成14年 **幼保小中一貫教育**スタート



平成15年～29年

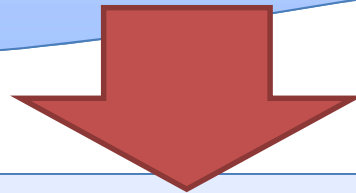
英語教育研究開発学校

H27-29
5期目の指定

連続
15年間

研究開発課題

国際社会において必要とされるコミュニケーション能力を育成するため、小学校**第1学年から英語科**を開設した場合における、中学校の教育課程を含めた**9年間を通じた**系統的な教育課程、指導方法及び評価方法の在り方についての研究開発



研究主題

**「生き生きとコミュニケーションを図る
児童生徒を育てる指導の工夫」**
～「**笠原型コンテンツ・ベイスト**」の手法を
中心とした効果的な小中連携の在り方～」

笠原型コンテンツ・ベイスト

「伝え合う内容を重視し、問題解決的な活動により、 伝え合う必然を生み出す」指導方法

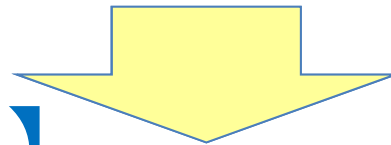
- ① **問題解決的な活動**により「聞く・話す・読む・書く」必然を生み出すとともに、コミュニケーションへの意欲を高める場面設定をすること
- ② **他の教科・領域**で児童の意欲、関心が高い学習事項をいかした題材を扱うこと<小学校>
- ③ **驚きや発見、気付き**の生まれる伝え合うねうちの高い内容でコミュニケーションをすること

【笠原小学校教育課程】

学年	授業時数
第1、第2学年	生活科から 70時間 (35時間×2学年)
第3、第4学年	総合的な学習の時間から 120時間 (60時間×2学年)
第5、第6学年	外国語活動 + 総合的な学習の時間から 140時間 (70時間×2学年)
合計	330時間

【第Ⅳ期までの成果】

- ◎ **コミュニケーション能力**の高まり
- ◎ **文字**への慣れ親しみ（小学校）
- ◎ **小中連携**（情報交換・交流・カリキュラム連携）



【第Ⅴ期の課題】

- △ 言語材料の**正しい理解**と**正確な運用**
- △ 発達の段階に応じた**文字指導**
- △ 外国語活動から**外国語科**への**円滑な転換**と
効果的な指導方法（小学校）
- △ 小中英語教育の**円滑な接続**の在り方

【研究仮説】

英語教育を効果的に進めるための環境を充実させ、小・中学校が効果的に連携を図り、**9年間を通じて**「笠原型コンテンツ・ベ이스ト」の手法を用いた授業づくりを工夫すれば、**目指す児童生徒の姿**が具現される。

【**目指す児童生徒の姿**】とは…

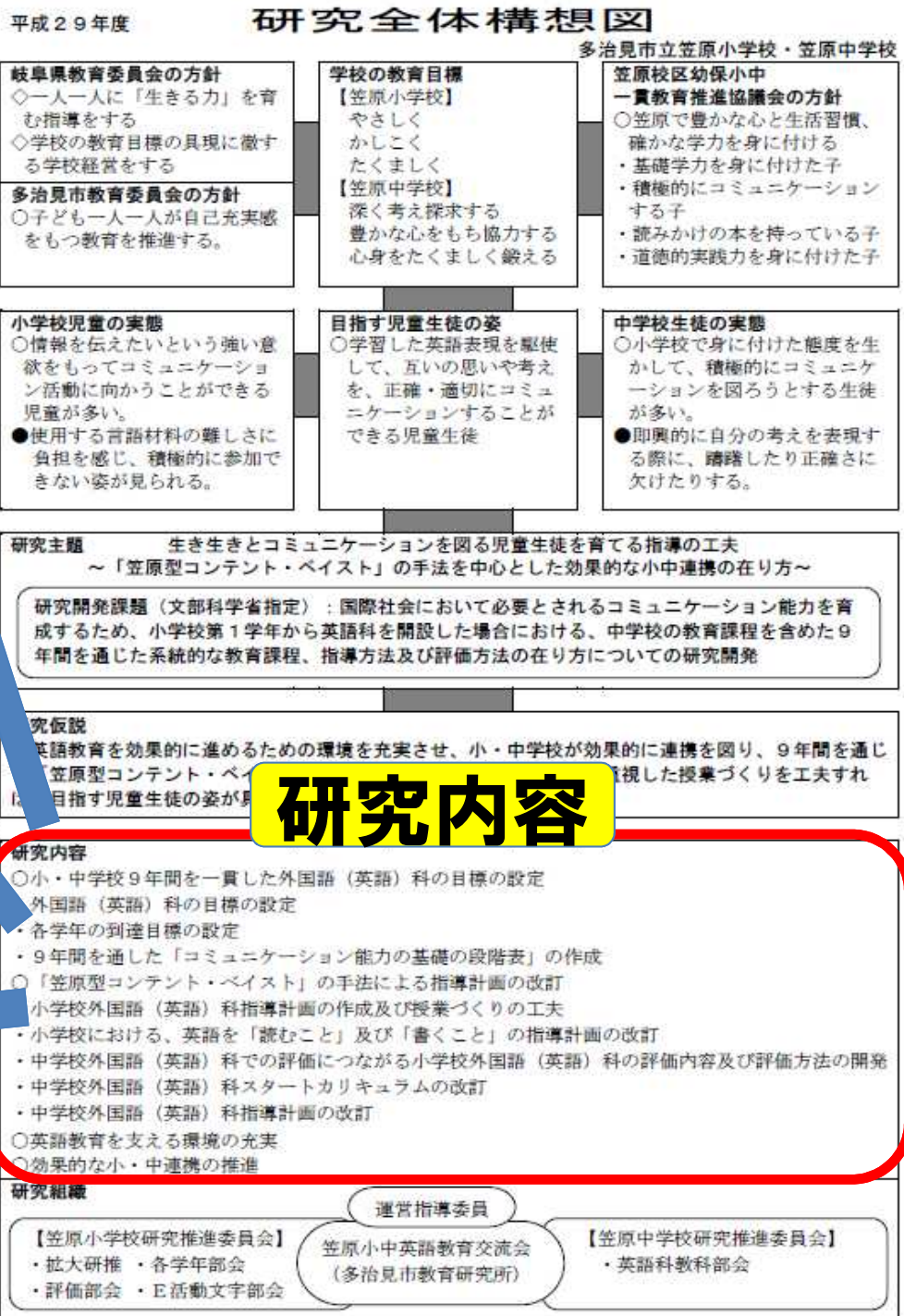
学習した英語表現を駆使して、互いの思いや考えを、正確・適切にコミュニケーションすることができる児童生徒

【本日の説明内容】

1 小学校の実践

2 効果的な小中連携

3 中学校の実践



研究内容

【研究実践】

1 小学校の実践



(1) 習熟・定着を図るための指導

(2) 学習意欲を高める評価

(3) 発達の段階に応じた文字指導

【研究実践】

(1) 習熟・定着を図るための指導

① Small Activity

毎時間の冒頭に

既習事項を活用して

第1・2学年

第3・4学年

第5・6学年

『教師と児童』または
『児童同士』のやりとり

児童同士の
やりとり

単位時間の流れ

- 1 Greeting
- 2 Small Activity
- 3 Activities
 - ・Activity 1
 - ・中間指導
 - ・Activity 2
- 4 Check Time
- 5 Comments
- 6 Greeting

【研究実践】

(1) 習熟・定着を図るための指導

② 中間指導

正確さチェック
(ALT活用)

児童が表現できなかったことの**確認**

練習 (全体・個人)

単位時間の流れ

- 1 Greeting
- 2 Small Activity
- 3 Activities
 - ・Activity 1
 - ・**中間指導**
 - ・Activity 2
- 4 Check Time
- 5 Comments
- 6 Greeting

【研究実践】

(1) 習熟・定着を図るための指導

③ Check Time

その授業の**達成度**を確かめる



適切な自己評価が**次時への意欲**に

単位時間の流れ

- 1 Greeting
- 2 Small Activity
- 3 Activities
 - ・Activity 1
 - ・中間指導
 - ・Activity 2
- 4 Check Time**
- 5 Comments
- 6 Greeting

【研究実践】

1 小学校の実践



(1) 習熟・定着を図るための指導

(2) 学習意欲を高める評価

(3) 発達の段階に応じた文字指導

【研究実践】

(2) 学習意欲を高める評価

① 自己評価 (コメントカード)



こんにちは 赤ちゃん		grade4 class 1 name			
時期	①	②	③	④	
日付	6月9日	6月19日	6月20日	6月23日	
①先生や仲間の赤ちゃんの顔の絵を聞いて、理解することができましたか。	○	○	○	○	
②自分の赤ちゃんの顔の絵を正しく返えることができたか。				○	
③大切なところを強調して話すことができたか。					
④相手に伝わったかどうか確かめながら話すことができたか。				○	
【がんばりステッカー】					
⑤取次と英語を、わかったこと、おどろいたこと、思ったことを書く。	<p>ほえおぼてし クラスで一番多いのが見外OKはクラス一番の いが赤ちゃんのは1月だと思てい人だと思ては歩んで行く はsleepy fri たけな5月か一番たけな4日一番多いの ndly reactive たたのて、いしたのて、いしたのて、いしたのて、 たたのて、いしたのて、いしたのて、いしたのて、いしたのて、 ていしたのて、いしたのて、いしたのて、いしたのて、いしたのて、</p>				

単位時間の流れ

- 1 Greeting
- 2 Small Activity
- 3 Activities
 - Activity 1
 - 中間指導
 - Activity 2
- 4 Check Time
- 5 Comments**
- 6 Greeting

図6 コメントカードの活用例

【研究実践】

(2) 学習意欲を高める評価

① 自己評価(CAN-DOリスト)



できるようになったものに色をぬろう！
You can do it!!



名前

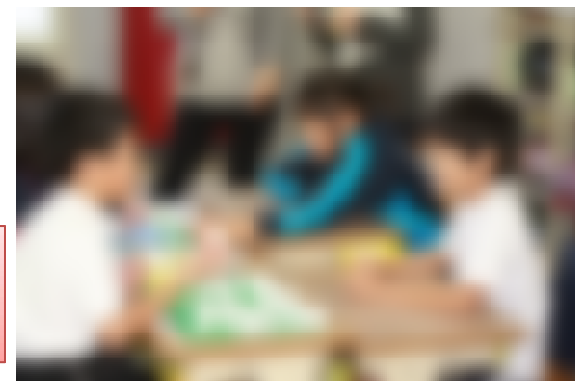
3年 ぜんき どんなことができるようになったかな？

<p>①『友だちの好きなもの』</p>	友だちの好きな色、動物、くだもの、海の生き物を聞いて分かる。	あい手が何を言っているのかわからなかった時に "One more time, please." と言うことができる。	あい手の話に "Really?" "Unbelievable!" などの言葉で反のうして聞く。			
	②『ぜんぶでいくつ』	背の高さや物の高さ、長さを伝えることができる。	背の高さや物の高さ、長さをたずねることができる。	絵や写真を指さしながら、分かりやすく話すことができる。	あい手が分かっているか "OK?" と確かめながら話す。	
	③『成長すると何になる』	花や野菜、こん虫のことを聞いて意味が分かる。	あい手が何を言っているのかわからなかった時に "One more time, please." と言うことができる。	表じょうやくさで分かっているかということ伝えながら聞く。		
	④『こん虫はかせになろう』	こん虫のすみかや食べ	あい手が何を言っているのかわからなかった時に	あい手の話に "Really?" "Unbelievable!" などの		

【研究実践】

(2) 学習意欲を高める評価

② 教師評価(ステッカーによる評価)



振り返り		ステッカー	
This pizza has~.や It's good for ~.を使って、自分のグループのピザの特徴を伝えることができた。	◎ ○ ▲	▲	▲
相手を話に巻き込むために、質問を入れながらプレゼンすることができた。	◎ ○ ▲	▲	●
伝えたいところを強調して話すことができた。	◎ ○ ▲	▲	●

5年生の学習プリントの振り返り欄

- …コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- …外国語表現(話す)能力 ● …外国語表現(書く)能力
- …外国語理解(聞く)能力 ● …外国語理解(読む)能力

単位時間の流れ

- 1 Greeting
- 2 Small Activity
- 3 Activities
 - ・Activity 1
 - ・中間指導
 - ・Activity 2
- 4 Check Time
- 5 Comments**
- 6 Greeting

【研究実践】

(2) 学習意欲を高める評価

② 教師評価 (パフォーマンステスト)



年4回
(6・9・12・2月)

一人ずつ、別室

ALT…出題
HRT…記録・評価

第1～3回…単元テスト
第4回…年間のまとめのテスト

第4学年

パフォーマンステスト 〈ビデオ〉

Name _____

〈表現の正確さ〉

①ポプ先生の赤ちゃんの頃の様子について尋ねる。

尋ねる	正しく質問できる (表現○)	正しく質問できない (表現×)
① “When is your birthday?”		
② “Where were you born?”		
③ “How many grams did you weigh?”		
④ “What kind of baby were you?”		

*『正しく質問できる』とは？ 第4学年では、全文正しく言うことを求めているので、以下のみの答えでも表現○とする。
①… “when” “birthday” ②… “where” “born” ③… “how many grams” “weigh” ④… “what kind of baby”

ALTに質問
《表現の正確さ》

②ポプ先生からの赤ちゃんの頃の様子についての質問に答える。

答える	正しく答える (表現○)	正しく答えない (表現×)
① “My birthday is _____.”		
② “I was born in _____.”		
③ “_____ grams.”		
④ “I was a _____ baby.”		

質問に回答
《表現の正確さ》

*『正しく質問できる』とは？ 第4学年では、全文正しく言うことを求めているので、以下のみの答えでも表現○とする。
①…『月日』 ②…『場所』 ③…『数字』 ④…『性格を表す形容詞』

〈継続・表現、理解の適切さ〉

	評価規準	チェック
【表現の適切さ】	●大切な部分に強勢を置く。	
	○大切な部分を繰り返す。	
	○手振り、身振りを加えて話す。	
	○絵や写真、具体物等を指し示しながら話す。	
【理解の適切さ】	○適切な音量、明瞭な音声で話す。	
	○上昇口調で繰り返す。	
	○相手の話のポイントを繰り返す。	
【関心・意欲・態度】	○ “Pardon?” “One more time, please.”	
	●聞き手の理解を確かめるための “OK?”	
	○アイコンタクト	
	○スマイル	
	○理解できないときに表情で表す。	
	○理解していることを伝えるためのうなずきや “OK.”	
	○ “Really?” “Me, too.” 等、驚きや感想の言葉を付け加える。	

HRTが評価

4年生第1回パフォーマンステスト 《得点表》

名前 _____

ボブ先生への質問	「たん生日はいつですか。」とたずねることができた。		◎	○	△	
	「どこで生まれましたか。」とたずねることができた。		◎	○	△	
ボブ先生からの質問	豊かなコミュニケーションをするための工夫	「生まれた	あい手に聞こえるはっきりとした声で話している。		◎	△
		「どんな性	え顔で話をしている。		◎	△
		『たん生日	アイコンタクトをしながら話している。		◎	△
		『生まれ	伝えたいところを強調して話すことができた。		◎	△
		『生まれ	“OK?”と言って、確かめながら話すことができた。		◎	△
		『赤ちゃ				

☆がんばりましたね。次回はさらに◎が増えるようにがんばろう！

【研究実践】

1 小学校の実践



(1) 習熟・定着を図るための指導

(2) 学習意欲を高める評価

(3) 発達の段階に応じた文字指導

【研究実践】

(3) 発達の段階に応じた文字指導

① 帯活動との関連



- 年16回
- 活動計画
(各学年毎)

学年	帯活動における指導内容
第1学年	アルファベットの 大文字
第2学年	アルファベットの 小文字
第3学年	大文字と小文字の マッチング
第4学年	単語を 読む (発達の段階を考慮した単語)
第5学年	
第6学年	

平成27
平成28

平成29
外

E活動（文字に慣れ親しむ活動）指導計画 第11回

単元名：好きな料理を集めよう（3/4）

活動名：友だちは何が好きかなクイズ！

ねらい：友だちが好きなものとそうでないものを分けて当てる活動を通して、料理解し、読むことに慣れ親しむ。

平成29年度 E活動（文字に慣れ親しむ活動）年間活動計

回	単元名 (テーマ)	活動名	ねらい
1	初めまして (New Friends)	カードを集めて名前をつくらう	自分の名前をローマ字で必要な文字カードを集める活動 アルファベットの大文字と小文字に慣れ親しむ。
2		自己紹介するための名刺をつくらう	自分の名前をローマ字読みで書くを通して、アルファベットの大きな文字と位置を書くことに慣れ親しむ。
3		新しい仲間と名刺交換ゲーム！	クラスの仲間と名刺を交換に交換した友だちを紹介することで、アルファベットの大きな文字とローマ字読みを活用して名前を慣れ親しむ。
4		名前読みはもうバッチリ！速読みレース！（大文字・小文字ミックス）	アルファベットの大きな文字と小文字の読み競争を通して、アルファベットの大きな文字と小文字の読みを慣れ親しむ。
5	動物園マップをつくる	動物カルタを楽しもう① (絵と綴り・個人→ペア)	教師の発音する単語を聞いて、動物を表す単語をマッチングさせる活動を通して、動物を表す単語を理解し、読むことに慣れ親しむ。
6		動物カルタを楽しもう② (絵と綴り・個人→グループ)	教師の発音する単語を聞いてカルタと動物を表す単語をマッチングさせる活動を通して、動物を表す単語を理解し、読むことに慣れ親しむ。
7		動物カード判読練習をしよう (ペア)	綴りカードと、絵カードをマッチングさせる活動を通して、動物を表す単語を理解し、読むことに慣れ親しむ。

時	主な学習活動	留意点
3	・『発音たいそう』を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで聞き合が一致している。 ・慣れ親しみがには、黒板のて、ヒントを ・活動の中で多でいる姿を見で認める。
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">友だちの好きなものを当てよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板の絵と綴りカードを見ながら、単語の音と意味と綴りを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(扱う単語) curry and rice, egg, yogurt, pizza, fried chicken, hamburger, sandwich, ice cream</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が好きなものとそうでないものを考え、綴りカードを2つのグループに分ける。 ・全員が指名された児童が、教師に尋ねて答えを確認する ・ペアで活動を行う。ペアを変えて数回行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① ペアの友だちが好きなものとそうでないものを考え、綴りカードを2つのグループに分ける。</p> <p>② 予想した答えが合っているかを聞き合う。</p> <p>C1: Do you like ice cream? C2: Yes, I do. Do you like egg? C1: No, I don't.</p> <p>③ いくつ当てることができたかを確認する。</p> </div>	
2	・交流の感想を全体で述べ合う。	

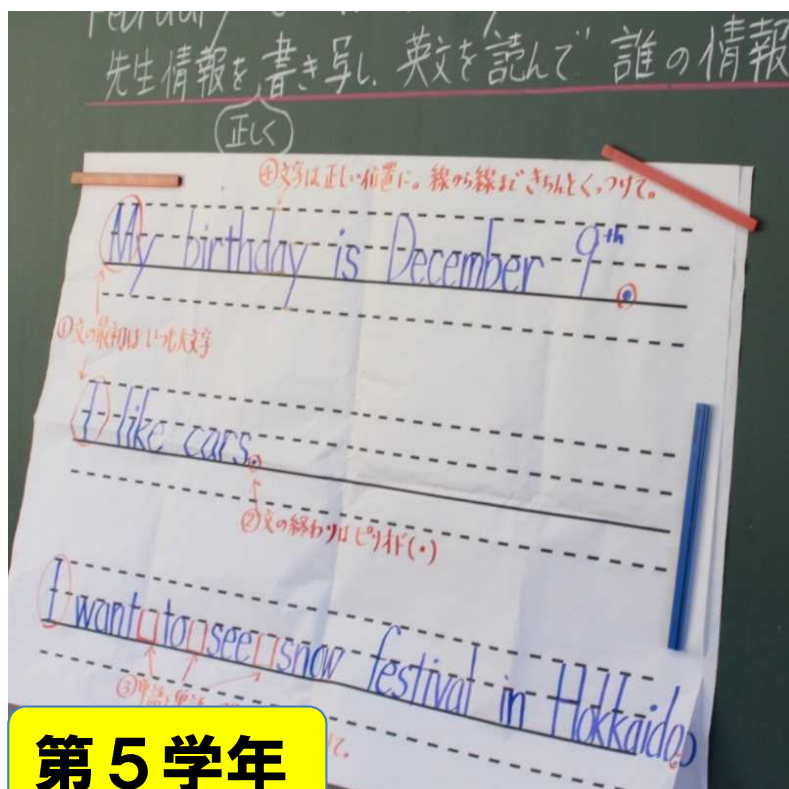
monkey, rabbit, elephant, panda

学校

【研究実践】

(3) 発達の段階に応じた文字指導

② 文字学習に特化した単元の設定



第5学年

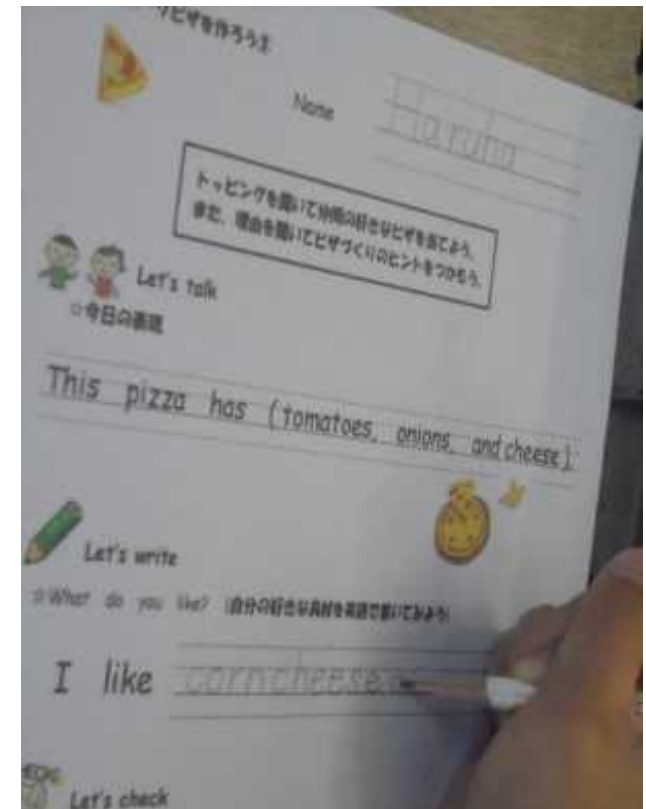


第6学年

【研究実践】

(3) 発達の段階に応じた文字指導

③ 文字提示方法の共通理解



What kind of baby were you?

I was a (shy) baby.

字形の統一 (Comic Sans MS)

a → a

【本日の説明内容】

1 小学校の実践

2 効果的な小中連携

3 中学校の実践

<p>岐阜県教育委員会の方針 ◇一人一人に「生きる力」を育む指導をする。 ◇学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。</p> <p>多治見市教育委員会の方針 ○子ども一人一人が自己充実感をもつ教育を推進する。</p>	<p>学校の教育目標 【笠原小学校】 やさしく、 かしこく、 たくましく。 【笠原中学校】 深く考え探求する。 豊かな心をもち協力する。 心身をたくましく鍛える。</p>	<p>笠原校区幼保小中、 一貫教育推進協議会の方針。 ○笠原で豊かな心と生活習慣、 確かな学力を身に付ける。 ・積極的にコミュニケーションする子。 ・読みかけの本を持っている子。 ・道徳的実践力を身に付けた子。 ・基礎学力を身に付けた子。</p>			
<p>小学校児童の実態。 ○情報を伝えたいという強い意欲をもってコミュニケーション活動に向かうことができる児童が多い。 ●使用する言語材料に負担を感じ、積極的に参加できない姿が見られる。</p>	<p>目指す児童生徒の姿。 ○学習した英語表現を駆使して、互いの思いや考えを、正確・適切にコミュニケーションすることができる児童生徒。</p>	<p>中学校生徒の実態。 ○小学校で身に付けた態度を生かして、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒が多い。 ●即興的に自分の考えを表現する際に、躊躇したり、正確さに欠けたりする。</p>			
<p>研究主題 生き生きとコミュニケーションを図る児童生徒を育てる指導の工夫。 ～「笠原型コンテンツ・ベイスト」の手法を中心とした効果的な小中連携の在り方～</p>					
<p>研究開発課題（文部科学省指定）：国際社会において必要とされるコミュニケーション能力を育成するため、小学校第1学年から英語科を開設した場合における、中学校の教育課程を含めた9年間を通じた系統的な教育課程、指導方法及び評価方法の在り方についての研究開発。</p>					
<p>研究仮説 英語教育を効果的に進めるための環境を充実させ、小中学校が効果的に連携を図り、9年間を通じて「笠原型コンテンツ・ベイスト」の手法による指導計画の改訂、目指す児童生徒の姿が具現される。</p>					
<p>研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校9年間を一貫した英語科の目標の設定。 <ul style="list-style-type: none"> ・英語科の目標の設定。 ・各学年の到達目標の設定。 ・9年間を通じた「コミュニケーション能力の基礎の段階表」の作成。 ○「笠原型コンテンツ・ベイスト」の手法による指導計画の改訂。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校英語科指導計画の作成。 ・小学校における英語を「読むこと」及び「書くこと」の指導計画の改訂。 ・中学校英語科における評価につながる小学校英語科の評価方法の開発。 ・中学校英語科スタートカリキュラムの改訂。 ・中学校英語科指導計画の改訂。 ○英語教育を支える環境の充実。 ○効果的な小・中連携の推進。 					
<p>研究組織</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 運営指導委員 【笠原小学校研究推進委員会】 ・ 拡大研推 ・ 各学年部会 </td> <td style="text-align: center;"> 笠原小中英語教育交流会 （多治見市教育研究所） </td> <td style="text-align: center;"> 【笠原中学校研究推進委員会】 ・ 英語教科部会 </td> </tr> </table>			運営指導委員 【笠原小学校研究推進委員会】 ・ 拡大研推 ・ 各学年部会	笠原小中英語教育交流会 （多治見市教育研究所）	【笠原中学校研究推進委員会】 ・ 英語教科部会
運営指導委員 【笠原小学校研究推進委員会】 ・ 拡大研推 ・ 各学年部会	笠原小中英語教育交流会 （多治見市教育研究所）	【笠原中学校研究推進委員会】 ・ 英語教科部会			

効果的な小中連携のために

(1) 情報交換

(2) 交流

(3) カリキュラムの連携



(1) 情報交換

2 効果的な小中連携



「合同研修会」

互いの「授業参観」



(2) 交流

教師同士

2 効果的な小中連携

多治見市教育研究所長 指導助言

平成29年度 4月行事 多治見市立笠原

日	曜	学 校 行 事	校 外 行 事 ・ 出 張
3	月	職員会① 8:30 職員室机等移動 10:00 三部会 11:00* 学年会 13:00 研推 15:30	受入式(13:30 エール) 校長会① (14:15 エール) 酒井
4	火	職員会② 8:30 拡大研推 10:30 昼食会 12:00 学年会・スタッフ会 13:00 転入職員オリ 16:00	再見積合わせ (14:30 大畑調)・献立検討 会 (15:45 洗浄セ) 山内
5	水	学年始め休業日終わり 学校徴収金運営委員会(教 科書配布準備) 9:00 少人数指導委 10:00 研究 職員会 13:30	学年打ち合わせ (15:00 精華小) 大坂 * 小中英語交流会① 16:00

小学校…教頭・教務主任・研究推進委員 5名

中学校…校長・教頭・**小中兼務教員**・英語科教員

単元（ねらい・素材・指導方法）の交流と理解
指導内容・方法…小中の系統性を図る

(2) 交流

2 効果的な小中連携

中学校英語科教員
と第6学年児童

What's this?

What is the famous food
in your country?

Where are you from?

児童

「英語学習」への意欲・憧れ

中学校教員

児童理解

(仮想外国人旅行者として)

(2) 交流

小中の 円滑な連携へ

中学校第2学年生徒と
小学校第6学年児童

2 効果的な小中連携

How many clubs do you have?

What events do you have?

In September we have
Sports Day.

小学校第6学年

中学校第2学年

(3) カリキュラムの連携

笠原小・中学校

「外国語（英語）科」における目標の段階表の作成

- ・【聞くこと】
- ・【話すこと】（InteractionとProduction）
- ・【読むこと】（内容理解・音読）
- ・【書くこと】



【本日の説明内容】

1 小学校の実践

2 効果的な小中連携

3 中学校の実践

<p>岐阜県教育委員会の方針 ◇一人一人に「生きる力」を育む指導をする。 ◇学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。</p> <p>多治見市教育委員会の方針 ○子ども一人一人が自己充実感をもつ教育を推進する。</p>	<p>学校の教育目標 【笠原小学校】 やさしく、 かしこく、 たくましく。 【笠原中学校】 深く考え探求する。 豊かな心をもち協力する。 心身をたくましく鍛える。</p>	<p>笠原校区幼保小中、 一貫教育推進協議会の方針。 ○笠原で豊かな心と生活習慣、 確かな学力を身に付ける。 ・積極的にコミュニケーションする子。 ・読みかけの本を持っている子。 ・道徳的実践力を身に付けた子。 ・基礎学力を身に付けた子。</p>			
<p>小学校児童の実態。 ○情報を伝えたいという強い意欲をもってコミュニケーション活動に向かうことができる児童が多い。 ●使用する言語材料に負担を感じ、積極的に参加できない姿が見られる。</p>	<p>目指す児童生徒の姿。 ○学習した英語表現を駆使して、互いの思いや考えを、正確・適切にコミュニケーションすることができる児童生徒。</p>	<p>中学校生徒の実態。 ○小学校で身に付けた態度を生かして、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒が多い。 ●即興的に自分の考えを表現する際に、躊躇したり、正確さに欠けたりする。</p>			
<p>研究主題 生き生きとコミュニケーションを図る児童生徒を育てる指導の工夫。 ～「笠原型コンテンツ・ベイスト」の手法を中心とした効果的な小中連携の在り方～</p>					
<p>研究開発課題（文部科学省指定）：国際社会において必要とされるコミュニケーション能力を育成するため、小学校第1学年から英語科を開設した場合における、中学校の教育課程を含めた9年間を通じた系統的な教育課程、指導方法及び評価方法の在り方についての研究開発。</p>					
<p>研究仮説 英語教育を効果的に進めるための環境を充実させ、小中学校が効果的に連携を図り、9年間を通じて「笠原型コンテンツ・ベイスト」の手法による指導計画の改訂、目指す児童生徒の姿が具現される。</p>					
<p>研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校9年間を一貫した英語科の目標の設定。 <ul style="list-style-type: none"> ・英語科の目標の設定。 ・各学年の到達目標の設定。 ○9年間を通じた「コミュニケーション能力の基礎の段階表」の作成。 ○「笠原型コンテンツ・ベイスト」の手法による指導計画の改訂。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校英語科指導計画の作成。 ・小学校における英語を「読むこと」及び「書くこと」の指導計画の改訂。 ・中学校英語科における評価につながる小学校英語科の評価方法の開発。 ・中学校英語科スタートカリキュラムの改訂。 ・中学校英語科指導計画の改訂。 ○英語教育を支える環境の充実。 ○効果的な小・中連携の推進。 					
<p>研究組織</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 運営指導委員 【笠原小学校研究推進委員会】 ・ 拡大研推 ・ 各学年部会 </td> <td style="text-align: center;"> 笠原小中英語教育交流会 （多治見市教育研究所） </td> <td style="text-align: center;"> 【笠原中学校研究推進委員会】 ・ 英語教科部会 </td> </tr> </table>			運営指導委員 【笠原小学校研究推進委員会】 ・ 拡大研推 ・ 各学年部会	笠原小中英語教育交流会 （多治見市教育研究所）	【笠原中学校研究推進委員会】 ・ 英語教科部会
運営指導委員 【笠原小学校研究推進委員会】 ・ 拡大研推 ・ 各学年部会	笠原小中英語教育交流会 （多治見市教育研究所）	【笠原中学校研究推進委員会】 ・ 英語教科部会			

【研究実践】

3 中学校の実践



スタートカリキュラムの工夫（第1学年）

指導計画・授業の改善



① スタートの10時間

② 教科書 Lesson 1 ~ Lesson 7

スタートカリキュラムの工夫

3 中学校の実践

L1~L7で扱う
言語材料の内容

80%

小学校で
学習した
言語材料

①コミュニケーションを 楽しもう	6	③アルファベットを覚えよう	12
②友達になろう	8	④英語の音とつづりに親しもう	14
⑤英語の			
Lesson 1	I Am Tanaka Kumi	田中久美	
Words & Sounds ①	数字		
Let's Talk ①	ごめんなさい ● I'm sorry.		
Lesson 2	My School	ALTの先生を案内し	
Words & Sounds ②	曜日と教科		34
Let's Talk ②	今、何時? ● What time is it?		35
Lesson 3	I Like Soccer	好きなものは何?	36
Words & Sounds ③	1日の生活		42
Let's Talk ③	どこにありますか ● Where is ~?		43
Project ①	自己紹介をしよう		46
④発音とつづり	Phonics		48
Lesson 4	Field Trip	校外学習って楽しいね	50
Words & Sounds ④	季節と月		57
Let's Listen ①	店の音声案内		58
Let's Talk ④	買い物しよう ● How much ~?		59
Lesson 5	Our New Friend	インドからの転校生	60
Words & Sounds ⑤	色と大きさ		67
Let's Listen ②	先生へのインタビュー		68
Let's Talk ⑤	これだれの? ● Whose ~ is this?		69

Lesson	My Family	ALTの先生のふるさとはどこ?	70
Let's Listen ④	テレビ番組		77
Let's Talk ④	電話をしよう ●		98
Lesson 8	School Life in USA	アメリカの中学生の生活	99
Let's Listen ⑤	英語のスピーチコンテスト		104
Let's Talk ⑤	英語のスピーチコンテスト		106
Let's Listen ⑥	英語のスピーチコンテスト		109
Let's Talk ⑥	英語のスピーチコンテスト		110
Let's Listen ⑦	英語のスピーチコンテスト		111
Let's Talk ⑦	英語のスピーチコンテスト		116
Let's Listen ⑧	英語のスピーチコンテスト		118
Let's Talk ⑧	英語のスピーチコンテスト		121
Let's Listen ⑨	英語のスピーチコンテスト		122
Let's Talk ⑨	英語のスピーチコンテスト		124
Let's Listen ⑩	英語のスピーチコンテスト		126
Let's Talk ⑩	英語のスピーチコンテスト		126
Review	人称・人称代名詞		
Review	名詞		
Review	後見返し		
Review	後見返し		141
Review	後見返し		142
Review	後見返し		146
Review	後見返し		148
Review	後見返し		152

スタートカリキュラムの工夫

3 中学校の実践

①スタートの10時間

- Hello
- Head Shoulders Knees and Toes
- ABC steps
- Colors
- 12 Months
- ABC song

英語の歌



すごろくをしよう

小学校で使用⇒教材・教具・活動方法

絵と文字をつなげよう

小学校での経験を生かすことで

・英語の歌

・すごろくをしよう

・絵と文字をつなげよう

小中の円滑な接続

**小学校で身に付けてきた
技能や態度の実態把握**

②教科書 Lesson 1 ～ Lesson 7



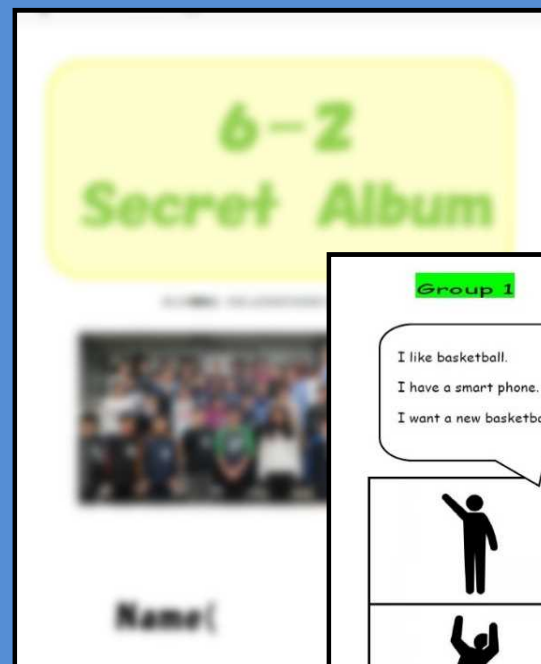
指導内容の系統性 ・ **指導方法の継続性**
(言語材料・言語活動・教材・学習形態etc.)

スタートカリキュラムの工夫





3 中学校の実践

②教科書 Lesson 1 ~ Lesson 7

小学校 第6学年
「シークレットアルバムをつくろう」



Group 1

I like basketball. I have a smart phone. I want a new basketball.	I like baseball. I have Sawamura's sign. I want new shoes.
	
	
I like games. I have a dog. I want money.	I like copybaras and dogs. I have a house. I want money.

中学校 第1学年
"Our New Friend"



「言語材料」を想起



『5つの段階』

(5) 活用する時間

(4) 即興性を高める時間

(3) 正確性を高める時間

(2) 基本的な表現を整理する時間

(1) 導入の時間

5 採用する時間					
第15時 ねらい：上海ディズニーランド旅行を計画している ALT から、どこに行けばよいかを考えてほしいという依頼の内容を理解し、紹介動画を見たり、紹介文やガイドマップをじっくり読むことを通して、上海ディズニーランドの特徴について、正しく理解することができる。	第16時 ねらい：上海ディズニーランドではどんなことが体験できるのかを理解しよう。	第17時	第18時	第19時(本時) ねらい：上海ディズニーランド	第20時

(5) 第15時～第20時

- ・海外旅行で行きたい場所の交流
- ・上海ディズニーで行きたい場所の交流

4 言語性を高める時間			
第11時 Use Read ① ねらい：教科書の内容を理解し、Retelling (教科書内容の要約や感想) を行う。	第12時 Use Read ② ねらい：教科書の内容を理解し、Retelling (教科書内容の要約や感想) を行う。	第13時 Use Read ③ ねらい：教科書の内容を理解し、Retelling (教科書内容の要約や感想) を行う。	第14時 Use Read ④ ねらい：教科書の内容を理解し、Retelling (教科書内容の要約や感想) を行う。

(4) 第11時～第14時

- ・教科書の内容理解
- ・Retelling (教科書内容の要約や感想)

3 読解性を高める時間	
第5時 Get Part 1 ① ねらい：久美のモンゴルのゲルについての説明文を読むことを通して、内容を要す単語や文から場面や状況をとらえて、必要な情報を正しく理解することができる。	第6時 Get Part 1 ② ねらい：久美の説明文の解を深め、Retelling (教科書内容の要約や感想) を行う。

(3) 第5時～第10時

- ・教科書の内容理解
- ・音読、Picture Telling、Retelling

2 導入の時間	
第2時 ねらい：新出の言語材料の理解	第4時 Get Part 3 Practice ねらい：カードに描かれた絵について説明する活動を通して、関係代名詞(目的格 that/which)を用いた文の意味・構造・文の構造を理解している。

(2) 第2時～第4時

- ・新出の言語材料の理解

1 導入の時間
第1時 ねらい：休日に行きたい場所について、ALT と JET とともにグループで話し合い、話し合いにおける3つのポイント

(1) 第1時

- ・休日に行きたい場所についての交流

本公開単元における『5つの段階』

(1) 導入の時間

第1時

- ①ALTとJTEの休日に行きたい場所についての聞き取り
- ②休日に笠原町で行きたい場所についての意見交流

(2) 基本的な表現を整理する時間

第2時～第4時

- ①新出の言語材料の理解
- ②関係代名詞を用いた言語活動

本公開單元における『5つの段階』

(3) 正確性を高める時間

第5時～第10時

- ①教科書の内容理解
- ②4～5文に整理したものを音読練習
- ③Picture Telling
- ④書きまとめ

①

1. The place I want to go to is Kenya.
2. It is a country that we can see some animals.
3. Have you seen them in the wild?
4. It must be wonderful to see them.

②

1. The place I _____ to is Kenya.
2. It is a _____ that we can _____ some animals.
3. Have you _____ them in the _____?
4. It must be _____ to _____ them.

③

1. The _____ is Kenya.
2. It is _____ some animals.
3. _____ you _____ them _____?
4. It _____ to _____ them.

1.

2.

3.

4.

LESSON 5 GET Part 3 P.68

1. Speaking

★メイリンになったつもりで、ケニアについて正しく説明しよう。

2. Writing

★読んだことを書きまとめよう。

決めた方	A 教科書を見ないで	B 単語を見て	C 教科書を見ながら

3年 組 番 名前 ()

本公開單元における『5つの段階』

(4) 即興性を高める時間

第11時～第14時

- ①教科書の内容理解
- ②教科本文の音読練習
- ③Retelling (要約・感想)
- ④書きまとめ



本公開單元における『5つの段階』

(5) 活用する時間

第15時～20時

- ①海外旅行で行きたい場所の交流
- ②上海ディズニーランドで行きたい場所の交流

同じ活動形態

場面設定が変わる

グループ交流

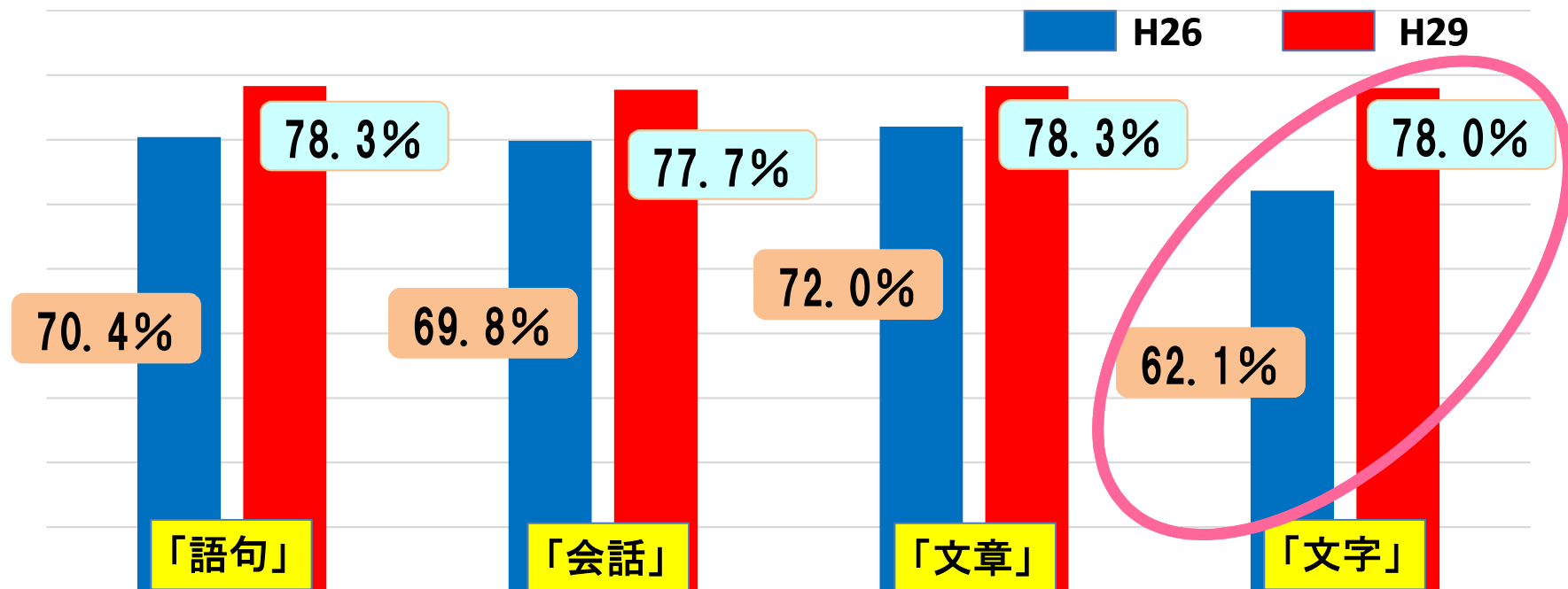
「正確に話す活動」の場の設定

「即興的に話す活動」の場の設定

【成果】（小学校）

言語材料の習熟・定着を図る指導

「英検Jr.」(GOLD・SILVER・BRONZEの平均)



全項目で向上（文字領域で大きな伸び）

【成果】（小学校）

外国語科の評価内容及び評価方法の開発

- ・ 児童の自己評価（単位時間内）
- ・ 教師による評価（単位時間内）
- ・ パフォーマンステスト（年4回）

評価の観点を焦点化・明確化

⇒ 指導すべき内容と方法の明確化へ

【今後に向けて】（小学校）

「習熟・定着」を図るための指導

- ・ 詳細な『**Small Activity**指導計画』の作成
- ・ 単位時間における指導過程の見直し

「読むこと」及び「書くこと」の指導

× 『文字で指導』 ◎ 『**音で指導**』

「評価内容」及び「評価方法」

- ・ **評価材料**の少なさ
- ・ **問題の難易度の偏り** 等

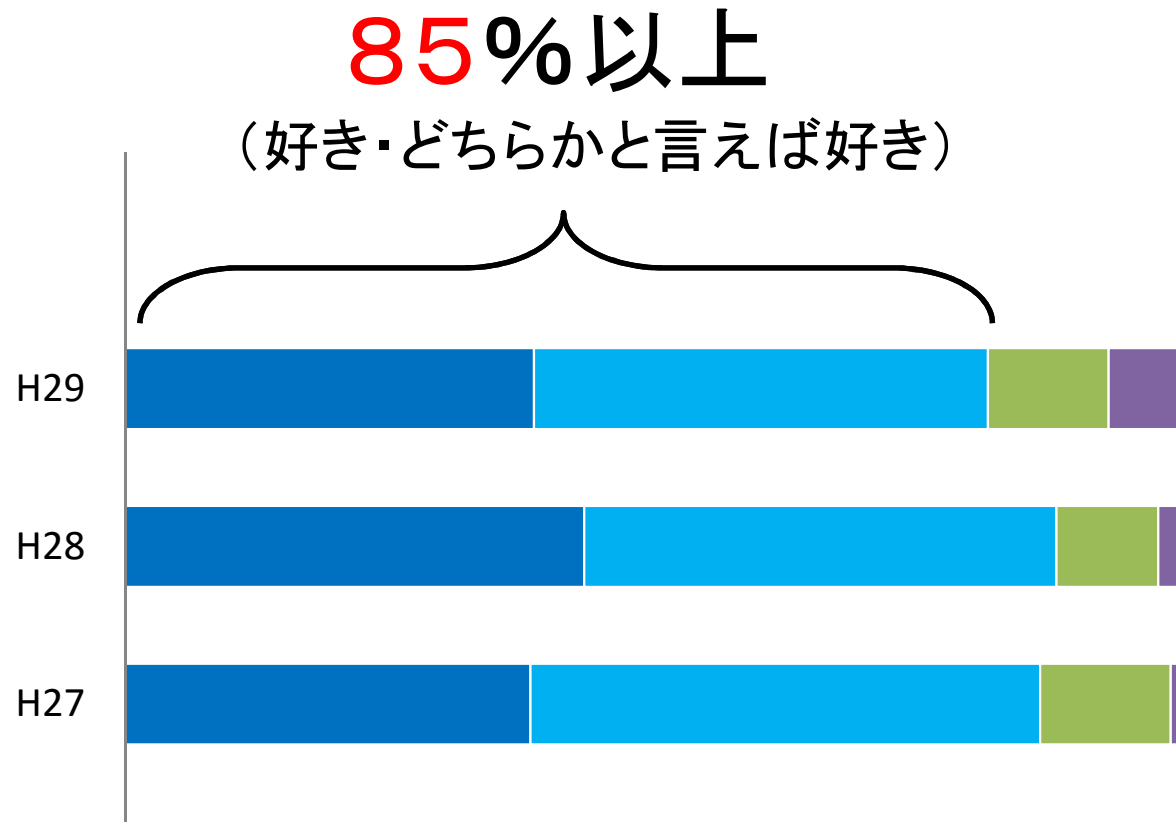
【成果】（中学校）

- 生徒の実態に応じた**スタートカリキュラム**の確実な実施
⇒小学校外国科との**滑らかな接続**

校内意識調査

（H27-H29年7月）

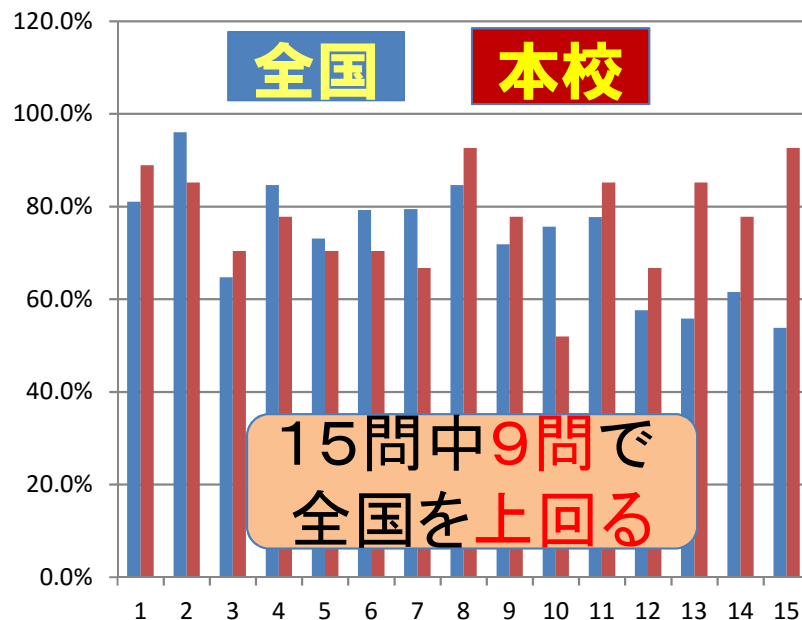
英語の授業は
好きですか
（第1学年）



【成果】（中学校）

- ・ 指導計画・授業の改善
⇒ 正確性・即興性向上のための
指導過程の確立

「スピーキングテスト」



「英語能力判定テスト」

英語検定3級程度の
実力がある生徒

50%（今年度7月）

60%（昨年度2月）

【今後に向けて】（中学校）

- 小学校外国語科における「書くこと」の指導を受けた「スタートの10時間」の短縮
- 言語活動における正確性と即興性のバランスの検討
- さらなる正確性を高める効果的な指導法の追究



Thank you very much
for listening.